

第42回全国少年柔道大会中信予選会 大会要項

1. 日 時 令和4年2月20日(日) 午前9時30分開会式
2. 会 場 松本市柔剣道場
〒390-0811 長野県松本市中央 4-7-28
3. 参加資格
 - (1) 出場は、分団・道場単位とする。
 - (2) 選手構成は原則として令和4年4月30日現在、小学校5年生・6年生の男・女。但し、やむを得ざる場合は5年生の補充として4年生を以ってあてることができる。
 - (3) 参加選手・監督・役員は全日本柔道連盟に登録しているものに限る。
 - (4) 参加選手で柔道を修行し約六か月満たないものは参加を認めない。
六か月とは総修行期間を表す。(例 柔道を始めて二か月後に骨折をして約二か月の休養後一か月の修行をし、合計五か月の為⇒参加はできない)
 - (5) 参加チームの監督は、全日本柔道連盟公認指導者資格(C指導員)以上を保有したものがエントリー及び帯同しなければならない。(全柔連登録団体が参加チームと異なっても可)
※但し全国大会出場の際にはB級指導者ライセンスを保有した者がいない場合出場できません。
4. チーム編成
 - (1) チーム編成は分団、道場単位とする。(混成チームは認めない)
 - (2) チームは監督1名、選手5名、補欠2名とし、試合毎に選手の位置は変更できない。
 - (3) 選手編成は大將・副將・中堅は6年生、次鋒・先鋒は5年生または4年生とする。
 - (4) 下学年の児童が上学年の児童の位置に出場する事は差し支えない。但し、学年順に配列し、同一学年内は体重順に配列する事。
 - (5) 大会中の選手変更は補欠の中から補充は可能であるが、学年順に配列し、学年内で体重順に配列すること。初戦における選手変更は監督会議で届けること。
 - (6) 一旦退いた選手は、その後試合に出場することはできない。
5. 試合方法
 - (1) 試合は、国際柔道連盟試合審判規定並びに「少年大会特別規定」による。
 - (2) 試合は、トーナメント戦により行なう。(チーム数によってはリーグ戦の場合もある)
 - (3) 各チーム5名の点取り対抗戦とする。
 - (4) 勝敗の判定基準は「一本」「技あり」「僅差」とし、技評価が同等・指導差1以下の場合は「引き分け」とする。「指導」の差が2つの場合「僅差」による優勢勝ちとする。
 - (5) 団体得点法、勝敗は勝点の合計による。勝ち数同数の場合、内容差を見る。内容も全く同じの場合は、引き分けの対戦の中より抽選し代表試合を1回行い、技による評価(技あり)がない、又は同等、指導差が1差以下の場合旗判定より必ず優劣を決する。(ゴールデンスコアは行わない)
 - (6) 試合時間はすべて3分とする。

6. 脳震盪対応について

- (1) 大会前一月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、大会出場許可を得ること。
- (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- (4) 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

7. 新型コロナウイルス感染対策について

※感染予防対策については、別紙を参照の上、徹底すること。
尚、今後の県内の感染状況によって、対策の変更を行う場合もある。

8. 申し込み

申し込み用紙に記入の上、令和4年2月5日(土)必着で下記にメールにて申し込むこと。

中信柔道連盟副競技部長 柿本 聡 宛

〒399-8302 安曇野市北穂高 750

Eメール kakimoto2010judo@ae.auone-net.jp

※ Emailでの申し込みも可としますが、件名に「第41回全少中信予選申し込み」と明記をお願いすると共に、メッセージ作成画面のツール(T)から開封確認のメッセージの要求をクリックしてメールをお送りください。こちらが開封した旨が返信されます。

9. その他

- (1) 試合中の負傷に対する応急処置は大会本部にて行う。
- (2) 負傷、事故等の補償は、主催者が加入した傷害保険の範囲とし、その他の責任は一切負わない。
- (3) 出場選手は、各自傷害保険へ加入すること。
- (4) 出場選手、監督および保護者は、申し込みの時点で体格差のある選手との対戦が生じる場合があることを了承したものとする。
- (5) 本大会の統括・運営は全日本柔道少年団によるものです。出場チームはできるだけ全日本柔道少年団に登録すること。
- (6) 県予選会の申し込みは、本事務局で行う。

《お願い》

本大会は、身体的にも精神的にも発育途上の小学校児童の大会であることを常に念頭におかれて特に危険防止について配慮されたい。また礼法を正しく行わせるのはもとより、姿勢、組み方についてもご配慮、ご指導をお願いいたします。

10. 新型コロナウイルス感染対策について

- ・ 体調管理に努め、大会当日に、せき、鼻水、倦怠感等体調不良や感染の疑いのある場合は参加しないこと。

- 大会当日は、会場入り口で検温・手指消毒・健康チェックシートの確認を行い、健康状態をクリアしている者のみ入場可能とする。（健康チェックシートは、長野県柔道連盟が発行しているメディカルチェックノート付属のチェックシートを使用すること。指定する物を所持していない場合は、この通知に別添してある物を使用すること。チェック期間は、大会当日の14日前から当日朝までとする。）
- その他、濃厚接触者となった場合及び、直近2週間以内に感染者との接触や、疑わしい行動がある場合は参加しないこと。
- 参加チームの中で、ベスト4まで勝ち上がったチームは表彰式まで待機し、それ以外のチームは試合が終わり次第解散すること。
- 各チームに於いて登録した監督以外にもう一名の指導者をコーチとして参加することを認める。
- 大会参加チームは、別添してある【会場案内】の指示に従って会場を使用すること。
- 保護者の応援は、選手につき1名に限定する。また応援者は、別添してある【会場案内】の注意を守って決められた場所で観覧すること。
- 大会施設内では、マスク着用を原則とし、選手においては試合の時のみマスクを外すこと。また、試合の前後に手指の消毒を行う。
- 試合場は、定期的に消毒を行う。